

みみょう幼稚園だより

令和元年9月号 ***** <http://mimyo.org/youchien/>

実り豊かな秋に



「お泊り保育：力を合わせて夕飯づくり」

暑い暑い夏を乗り越え、いよいよ二学期が始まりました。少し大きくなった身体や陽に焼けた肌、思い出を語る表情などから、ご家庭で過ごされた長い夏休みも、それぞれに豊かな日々だったことと感じています。皆様のご協力を得ながら実施した夏休みの預かり保育も、楽しく豊かな日々になりました。ありがとうございました。二学期は、運動会、親子遠足、芋掘り、みみょうフェスティバル、もちつき、成道会と、一年の中で最も長く、大きな行事も多い期間となります。一つひとつの行事が、子どもたちの発

想や創造性が発揮される実り豊かな体験の積み上げとなりますように、職員一同、一層の工夫と努力を重ねて参ります。保護者の皆様にもたくさんのご協力をお願いすることとなりますが、『子どもも保護者も保育者も楽しい保育』のテーマの通り、十分に楽しんでいただきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

「無償化説明会について」

いよいよ10月から、幼児教育無償化が開始となります。次年度の方針等も合わせ、9月5日(木)年長、6日(金)年少・中、それぞれ運動会の打合せの前半部分に説明会を実施させていただきます。ご質問等、用意しておいていただけたらと思います。

★★★ 長期休みの意義とは ★★★

私たちが子どもの頃より、当たり前のようにあり、楽しみにしていた夏休みや冬休み。長期休みには、次のような意義があると言われていています。「夏の暑さや冬の寒さなど気候的な悪条件から回避し、心身の健康を保持する」「季節の行事を通じて、家庭や地域社会と触れ合う」「学校や授業では体験できない連続した活動を行う」「進級・進学準備をし、新年度の生活に備える」などです。

しかし、世の中の進化に伴い、幼稚園や学校の教育環境も整ってきました。また、家庭や地域社会の伝統的な慣習も変化をしてくれています。さらには、様々な立場の人が社会進出できるようになり、その働き方も多種多様になってきました。土曜日や日曜日もそうなのですが、長期休業期間もお仕事をされている人もたくさんおられます。そんな中でも、幼稚園では、これまで同様、預かり保育を継続しながら、長期休みの設定をしています。時代は変わっても、やはり大切にしたい伝統や文化があると思います。何よりも、子どもたちにとって初めての集団での教育の場である幼稚園で過ごし成長した姿をご家族で確かめ合ったり共有したりする機会も大切だと考えています。ご家族毎にお休みの期間やスケジュールも様々まだとは思いますが、それぞれのご家庭に応じた密度の濃いふれあいや体験の機会を持っていただけていると思います。子どもたちの関係性やコミュニケーションの希薄化が叫ばれて久しいこの頃、今こそ、共感性や信頼関係の基盤をしっかりと築く機会を大切にしたいものです。もちろん、預かり保育も一層の充実を図ります。ご家庭と幼稚園で力を合わせながら、子どもたちが安心して過ごせる毎日を作っていきます。そのためにもご意見やご感想など、遠慮なくお伝えください。

(園長 三上 玲子)